

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 22 日 (水)	時 間	19 : 00 から 20 : 25 まで
場 所	都井小学校 音楽室		
出席者	保護者 12 名、教職員 12 名、地域住民 3 名、計 27 名		
事務局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	スクールバスに乗り遅れた場合、よかバスの利用は許可してもらえるのか。	よかバスの利用制限はないが、よかバス利用の補助はない。乗り遅れた場合のよかバス利用は保護者判断になる。	
2	地区によっては反対しているところがあるが、どういう意見で反対しているのか。	市木地区からの市木中学校を残してほしいという陳情書があがってきている。市木地区は距離がある、地域が廃れる、子どもの通学に負担があるなどの意見がある。それぞれの意見は市公式ホームページにおいて掲載している。	
3	スクールバスで 32 分かかり、部活動の幅は広がるが、部活動が終わって家に帰るのが遅くなる。中学校は宿題の量も多くなり、家庭で勉強する時間も増える。部活動は選べるが、遠いところの子どもは選べないような感じになる。学校の近くに家が集まって周りの地域には人がいなくなって過疎化が進んでしまう。	通学バスは下校時 1 便、部活動終了後 1 便を計画している。都井地区からは 32 分かかかるが、教育委員会としては、子どもたちによりよい教育を受けさせたいということで計画を立てている。	
4	できれば串間を二つに分けて、市木、都井、本城地区を 1 校、福島、大東、北方地区を 1 校とする考えはないか。	1 学年 2 学級以上の学校規模を目指すということで協議してきており、1 学年 2 学級以上の学校とした場合は、福島中学校を除くすべての学校を 1 校とする場合しかなく、そうした場合は位置的に厳しいということで教育委員会では 1 校とする方針となった。	

No.	意 見 等
1	岬地区が最初のバス停になる可能性もあるが、45 分かかり相当な時間的負担にな

	る。部活動をすれば勉強する時間もなくなるし、考えてほしいと思う。
--	----------------------------------

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 23 日 (木)	時 間	19 : 00 から 20 : 35 まで
場 所	北方小学校 音楽室		
出席者	保護者 14 名、教職員 7 名、計 21 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	校則は各中学校で違うと思う。細かい校則の違いで子どもたちがとまどってしまわないように、準備期間があれば各中学校で校則を統一するとかという配慮が必要である。	学校再編準備委員会の中で各学校との調整を図りながら、よりよい校則ができるように検討し定めていきたい。	
2	部活動の数と選択肢は増えると思うが、大会に出場する代表枠、人数が減ってしまえば不満が出ると思うので配慮が必要である。	出場枠については県及び南那珂中体連で話し合われる。部活動の内容、活動に新しい中学校のことを想定しながら検討していきたい。生徒のモチベーションが下がらないよう検討したい。	
3	給食は今までどおり給食センターなのか。	給食センターを活用することになる。	
4	アンケートの結果について、好ましくないと非常に好ましくないをあわせるとと書いてあるが、普通に思うという数をあわせれば北方中校区が 62%、大東中校区では 80%で割合が違ってくると思う。普通は現状に不満はないというふうにとれば、半数以上の方が現状に不満を持っていないことにとれるかと思うので、今後の再編計画に反映されるのか。	設問 3 にあるように、1 学年あたりの学級数はどのくらいが望ましいかということで、基本方針の 1 学年 2 学級以上を目指すように、クラス替えができるような 1 学年 2 学級以上を望むという意見が約 9 割あった。アンケート調査と教育委員会の方針に基づいて協議してきた。	
5	通学の方法について、北方中は全員が自転車で通学しているが、駐輪場の問題で 3 キロと設定されているのか。部活動があると帰りが遅くなるので自転車通学がいいと思う。	基本的に自転車は 3 キロ以上としているが、部活動については学校の許可を得れば自転車通学でいいと考えている。自転車置場は学校再編後の生徒数がすべて自転車通学しても対応できる規模である。	
6	自転車通学の距離を 3 キロから 2 キロ	おおむね徒歩、自転車の区分を案として示	

	にできないか。子どもたちの荷物が重く、行き帰りが大変である。1キロ未満とか2キロ未満とか検討できないか。	しているが、学校や準備委員会で協議して決めていくことになる。
7	2、3年生の制服が変わった場合、新規に購入するとなると負担がかかるが。	統合した時にそれぞれの学校の制服にするか、統合する前にそれぞれの学校で制服をそろえるのかについて、準備委員会で協議していくことになる。
8	先生たちが増えると、職員の環境とか職員室の環境とかよくなって、仕事をするうえで環境は良くなっていくものなのか。小さい学校の先生の意見を聞く機会があるともっと進むと思う。	複式学級で言えば、非常に大変なことである。自分一人で2学年の指導案を考えて授業を行っているので、負担感はある。人数が少ないなりに先生は成長するし、多様な考え方を持つ先生がいれば学べる機会はある。
9	3年生から変わる生徒を持つ家庭は、受験とかあるので不安があると思う。これから子どもたちに対してどう説明していくのか。	新しくできる再編中学校、そのよさは、こういう学校にしたいという希望、ねらいは再編してよかったという中学校にしたいと思っている。その情報を先生に伝えながら、子どもたちに希望や情報を提供して心構え、準備をさせたいと考えている。
10	中学校3年生で統合した場合に、その前の北方中学校の様子を知っている先生が統合された学校に残ってほしい。各校から地域の様子を知っている先生がいなければ親は不安だと思うし、新しい学校で先生を入れ替えるのではなく、先生が子どもと一緒に新しい学校に入ってもらって教職員の配置を望む。	教職員の人事は市教委でも関与しているので、確約はできないが、その方向で県教委と検討させていただきたい。

No.	意見等
1	アンケート調査結果の普通に思うという選択肢をどう捉えたらいいのか。普通とはどういうことなのか。
2	地域の人意見で、地区が無くなるのではないかと、若い人は福島小学校周辺に住宅を構えて、小学校自体も減っていくのではないかと意見があった。先生が教えやすい環境であったら統合は仕方ないと思うが、自分の中でも意見をまとめにくい。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 24 日（金）	時 間	19：00 から 20：25 まで
場 所	大平小学校 ランチルーム		
出席者	保護者 10 名、教職員 4 名、計 14 名		
事 務 局	教育委員（教育長を含む。）5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	通学バスの待機所は地区でも設けてもらえるのか。	乗降場所については、地区の保護者と協議しながら、子どもたちが安全に乗降できる場所を決めていきたい。	
2	中高一貫校になった場合、受験する子どもとそうでない子どもといると思うが、その対応は。	学校では将来を見据えて勉強するので、生徒を盛り上げながら対応していく。	
3	バスが止まるところに自転車の置き場所はあるのか。	子どもたちが安全な登下校ができる体制をとっていきたい。できる限りその地区の安全な場所で乗降させるということを基本に考えている。	
4	2 年生で再編される中学校に行くことになった場合、途中で制服を買い換えられないといけないのか、それとも大東中に通っているときから新しい制服なのか。	制服については、現行の制服で対応する方法と、もしくは今の学校で新しい制服を作って通学する方法もある。保護者の負担がかからないように準備委員会で十分協議しながら進めていきたい。2 重に制服を買わないような形でいきたい。	
5	部活動については生徒の選択肢が増えることもあるが、生徒が増えると部活動が現状より増えることは想定されるか。	学校再編の基本方針にもあるように、部活動については生徒が多様な種目（文化・スポーツ）の選択ができるようにすることを考えている。最低でも、現行ある市内の部活動、新たに意見があれば文化に応じた部活動も増やしていきたい。	
6	部活動は基本的に全員参加なのか。	出来る限り全員参加できるような学校になればいいが、部活動をしらない生徒もいる。子どもたちに部活動できるような環境を作りたいと考えているので、できる限り部活動をしていただければと考える。	
7	運動部などの部活動を増やすとなる	再編後の生徒数は、数年前の福島中学校の	

	と、現行のグラウンドで大丈夫なのか。	生徒数と変わらないので、面積としては足りる。野球とサッカー競技が重なるが、曜日、練習内容を工夫して調整している。剣道部や柔道部はほかの施設を使用している実態はある。
8	人数が増えると子どもたちの心理面に配慮することはあるのか。	子どもたちの不安や保護者の心配がないように指導していくが、スクールカウンセラー、スクールアシスタント、スクールソーシャルワーカー、福祉事務所との連携を図っていく。
9	アンケートの対象者が大人ばかりなので、子どもの意見も入れた方がいい。	中学生の意見や職員の意見を取り入れてより良い学校を作っていきたい。また、保護者の意見を聞く機会も設けたい。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 27 日 (月)	時 間	19 : 00 から 20 : 23 まで
場 所	秋山小学校 図書室		
出席者	保護者 9 名、教職員 7 名、計 16 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	実施計画の期間は平成 26 年度から平成 28 年度までと書いてあるが、その期間に福島中学校に入学が可能なのか、駆け込みで希望する保護者も多くなると思うが、その受け入れ態勢が整っているのか。	実施計画の期間は学校再編を進める準備期間と考えている。現在ある学校から新しい中学校に入学を希望することについては教育委員会では協議をしていない。今後、教育委員会で協議される。 現行では、一定の理由があれば自分の希望する学校に行ける校区外の制度はあるが、校区外については協議していないので、今後、教育委員会で協議される。 再編の対象者は、小学校 5 年生以下の児童を対象としている。	
2	平成 29 年 4 月 1 日から統合されることは決定しているのか。	串間市教育委員会の案として決定して説明している。素案では、平成 29 年から実施することとなっている。また、通学バスは平成 29 年度から走らせる。	
3	平成 30 年度の時点で 439 人となっているが、この先 10 年後、20 年後の子どもの数は可能なのか。	平成 47 年には、串間市の 14 歳以下の子供は 1068 人となることが想定される。市内の小学校で 410 人、中学校で 240 人である。現在の中学校が 456 人なので半分近くになる。そのことで 1 学年が 75 人から 80 人になることが想定される。	
4	人数が減ることは想定されるが、子どもを増やすような考え方はないのか。	学校再編についての教育委員会の方針は、子どもたちの教育環境を整えていきたいということで再編計画を作成している。	
5	通学バスは登校時 1 便となっているようだが、朝課外がある場合はどうなるのか。	1 年から 3 年まですべて同じバスになるので、同じ時間になると考える。今後協議していくことになる。	

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 28 日 (火)	時 間	19 : 00 から 21 : 02 まで
場 所	市木小学校 体育館		
出席者	保護者 6 名、教職員 12 名、地域住民 5 名 計 23 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 3 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	市木は南郷、日南が主になった生活形態を作っている。子どもも塾やスポーツクラブは南郷、日南に行っている。郡司部から南郷中学校までは約 10 分だが、もし私の子どもだったら南郷中に行かせたい。行政区の違う学校に行くことはできるのか。	通学する学校は学校教育法で定められている。市内であれば市内の中学校に行くことになり、また学校区域をそれぞれ規則で定めている。ただ、特別な理由がある場合のみ、教育委員会での許可を得て通学することもある。日南市教育委員会に理由を付して申請して、日南市、串間市と協議して認められた場合のみ区域外通学の手続になる。	
2	仮に議会に提案して反対される方が多かった場合、市木は別になる可能性はあるのか。	議員のみなさんはそれぞれ意見を持っている。推測や憶測で発言することはできない。教育委員会で慎重に審議してきた結果であるので、一人ひとりの議員のみなさんにしっかり説明して理解していただいたり、串間の子どもたちにとってより良い環境を作り上げていきたいということをご理解していただくことは最大限していく。	
3	帰られた方の行動による意見表示を、教育委員会としてどう受け止めているのか。また市側に市木の住民の方の今日の行動のことが伝えられるのか。	一部の保護者や地域住民の方が帰られたことは、一度持ち帰って状況を説明したい。	
4	もし 1 校になった場合、その再編学校に子どもを通わせないとしたらどうなるのか。	本来、子どもたちは学校が好きだと思う。その子どもたちの思いが十分受けとめられるような学校づくりをすることが市教委としてできることなので、いい学校を作るといふ信念のもとに取り組んでいきたい。	
5	生徒数の減少から起こっていると思うが、串間市に限らず近隣の市町村で	生徒数の顕著な減少によって、学校再編の素案を教育委員会で計画している。学校の	

	も同じ問題であると思う。例えば、串間市の中学校を1つにしても何十年後には同じような問題が出てくると思うが、近隣の市町村と合同で再編するという検討はされていないのか。	設置者は地方公共団体であるので、串間の学校は串間市が設置することになる。現行の法律ではできない取扱いになっている。
6	みなさんに理解を求めていくと話されたが、みんなに理解を求めたいといっても集まらない場合、強硬手段になるのか。	同じように理解を求めていきたい。子どもたちのためにご理解を求めながら進めていきたい。
7	アンケートで親の意見を聞いたと言ったが、アンケートだけをみて進めていくのか、また文書を出して討論会でもして細かい部分を決めていくのか。	学校再編の問題に限らず、これまでも教育長と語る会において意見や要望を聞く機会を設定して、率直な保護者の意見は聞いてきている。これは今後も続けていくべきだと考える。この学校再編の問題は重要な問題であるので、アンケートだけで決めるのではなく、常に門戸は開いておくべきで、行政からだけではなく、保護者からの意向があれば出向いて説明したい。
8	退出された方の理由としてどう思うか。	基本的には6校を1校にするという素案を持って説明会にきた。市木中学校はなくなることが裏付けされており、聞きたくないということで帰られたものと思う。
9	小中学校の保護者が少ない中での説明会が通るのは納得いかない。もう少し準備期間があれば話し合いの場もあるが、3年間は短すぎる。陳情書に対する返答がなかったことが退出された方の言い分であると思う。これで終わりだと考えるのは間違いだ。何回か説明会を開催してほしい。	説明会を開催できるかどうか、持ち帰って検討したい。

No.	意見等
1	法律は違反する、答申は無視する、文部省の通達は無視する、これはどういうことか。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 29 日 (火)	時 間	19 : 00 から 20 : 52 まで
場 所	大東小学校 ホール		
出席者	保護者 37 名、教職員 15 名、地域住民 5 名 計 57 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 4 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	決定したことなのか。	あくまで串間市教育委員会として決定したことである。	
2	案として説明されたが、話を聞いていると決定といわれてもおかしくない。ここにきている保護者はイエスかノーかはわからない。そういう状況の中で 3 月ないし 26 年の 9 月の市議会に提案されて賛成になった場合、生徒、保護者、先生の協調性がなければいい学校環境はできない。現状の大東中学校で問題があれば、距離は遠くなるが計画になったほういいとなるが、現状は現状のままでできる。反対者、賛同できていない方に納得させてもらわなければうまい学校づくりはできないと思う。	これまで教育長と語る会や住民や保護者の方との意見交換会を設けたが、計画案が固まっていなかったため教育委員会として説明できなかった部分がある。皆さんのご意見を聞きながら慎重に議論を重ねてきた。あくまで教育委員会で決定された内容である。現在、市長部局との調整会議で議論しており、調整が整った後、庁議で決定されて、基本計画・実施計画が固まる。その後、直近の議会に提案したいと考えている。	
3	なぜ小中学校の統合はできないのか。自分が生まれ育った学校がなくなるのは大変ショックなことで、自分たちが築いてきたことが簡単になるのかと思う。	小中一貫を目指すメリットとして考えることは、複数の小学校を有しているところが 1 つになって中学校と一緒になれば小学生が増え、中学校と一緒になりメリットが生まれる。市木で小中一貫となった場合、小学校から中学校を卒業するまで環境が変わらない。固定化された中で成長するメリットは薄いと判断している。例えば、福島中学校区のように 4 校が 1 つになって小中一貫になると小学生が増えてメリットが生まれてくることはあるが、市内全体のことを考えると、小中一貫は難しいと委員会の	

		中では判断している。
4	今後、このような話し合いはしないのか。	今のところでは想定していない。ただ、期間があけば、今回は小学校区で説明会を行っているが、例えば、もう1回は中学校区ごとにするとか、持ち帰って教育委員会で協議しながら進めていきたい。
5	再編したときに35人の学級になると、これまで伸び伸びとした環境で育ってきたが、環境が違うことでの子どもたちへのケアは考えているのか。	もし万が一、不適應になりそうな生徒がいる場合には、スクールアシスタント、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、あるいは学校内の組織など、生徒がきやすく、相談できる体制づくりはしていきたい。 現在は小学校同士で仲良く交流活動を行っている。今後は事前に子どもたちが仲よくすることで、少しでも安心して入っていけるように検討していく。
6	新6年生が中学3年生になったとき、制服やジャージなどの親の経済的負担はどう考えているのか。	それぞれの中学校から2年生、3年生が集まってくるが、新しい制服を作るタイミングについては前の学校で作っていくのか、新しい学校で新1年生から作っていくのか、準備委員会において、学校や保護者の意見を聞きながら決めていきたい。基本的に保護者の負担がないように意見を聞きながら決めていきたい。
7	通学路の6キロの基準は、福島中学校を起点して直径の6キロなのか、道路を通過の6キロなのか。	基本的には新しい中学校から道路を通過の6キロと考えている。
8	通学バスは無料と説明されているが、何年後かは有料になることはないか。	基本的に通学バスは無料で進めていく。

No.	意見等
1	決まっていないと答えられたが、決まっているような気がする。2回、3回の話し合いでは納得がいかない。一番心配するのは、学校がなくなるとどうなるのか不安である。学校は地域にとって大切だと考える。先生たちは子どもの学力向上を考え、市としても考えていると思うが、ここで答えは出せないし、話し合いが足りないと思う。過疎化が一層進むような気がする。もっと話し合い、説明を十分にさせていただければいいかと思う。

2	もう決まっているだろうと思ってきたが、話を聞いていて、一番最初に教育委員会の中での決定事項であって、まだ正式な決定ではないということを説明していただけるとより入りやすいのかと思う。
3	議員と意見交換の場を作ってもらえないか。
4	5年生が3年生になって移動することになり、受験を控えて厳しい時期に移動しなければならないのは不安がある。大東中学校に入って再編中学校で卒業するのはおかしなことと思う。そのことを考えていただいて次の説明会でも出していただければと思う。
5	志布志市が今年の4月から志布志中学校に統合される。中学2年生が3年生に上がるが、ストレスを抱えて冬休みから学校にいけない子どもがでてきている。
6	2校案は考えられないか。大東中学校は高台で、雨や津波の災害でも一番安全である。また避難場所としても残さないといけないのではないかと思います。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 31 日（金）	時 間	19：00 から 20：59 まで
場 所	本城小学校 理科室		
出席者	保護者 23 名、教職員 21 名、地域住民 8 名 計 52 名		
事 務 局	教育委員（教育長を含む。）4 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	上千野地区も通学バスの対象になるのか。	上千野地区と下千野地区は 6 キロメートルないが、本城地区の生徒が通学するとなると国道 448 号を通らなくてはならない。また蔵元橋には歩道がない。計画の素案にあるように通学バスの対象者は、生徒の安全や地域の実態等を十分に判断していきながら決めていきたい。	
2	通学バスは何年からということが明記されていないが。行政のさらなる統合があった場合、この案がそのまま継続するのか。	子どもたちがいる限り通学バスを導入する。行政の統合があったとしても継続していく考えである。	
3	本城、都井、市木を 1 校、北方、大東、福島を 1 校とする 2 校案は考えられないか。	教育委員会では、平成 25 年 3 月の串間市中学校再編基本計画の中で、同学年の生徒集団を 1 学年 2 学級以上の学校規模を目指すということで、これまで協議してきた。福島中学校と福島中学校を除く 5 つの中学校が統合して初めて 1 学年 2 学級ができることになる。5 つの中学校を統合した場合、施設、立地場所に課題があったため、2 校案は厳しいということで教育委員会において 1 校案でいくという協議がなされた。	
4	小中一貫校の話はなかったのか。	小中一貫校も検討したうえで、中学校を統合していく方が子どもにとってメリットがあるという判断をした。	
5	ある程度市民に対する説明が必要ではないか。市内の小学校を卒業して市内の中学校にどのくらい入学するのか、市内の中学校から福島高等学校に	議会や住民の方々に説明会の機会を設けた。計画に対する意見は今後とも反映していきたい。今後も教育委員会にお問い合わせやご意見をお寄せいただきたい。	

	どのくらい入学するのか。串間市として、いかに子どもを増やす策があるのか。	串間市は平成 20 年から小中高一貫教育に取り組んでいる。その効果もあり、市内の中学校から約半数を上回る進学となっている。中学の生徒数も減っていくことから入学する子どもも減っていくと思うが、高校側と連絡しながら取り組んでいきたい。
6	現在の小学 5 年生と 4 年生が対象となる。制服や体操服、その他学用品の取り扱いについて、過重とならないように検討するとあるが、負担があつてはいけないと思うが。	それぞれの中学校の制服で集まるのか、前倒しして新しい制服で新しい中学校に通うのか、そのことについては、十分、保護者が二重の負担とならないよう、学校や保護者の意見に配慮して決定していきたい。
7	本城は小中学校合同で地域活動や運動活動をしている。再編後に残された小学校はどういうふうにして形を作っていくか、地域活性化をどのようにしていくか、例えば、運動会を小学校と保育園、地域とできるような関係を作っていただけるのか、しっかり提示してほしい。	例えば、小学校の運動会に中学生が参加して盛り上げている。一つの例として挙げたが、できるだけ本城地域の運動会が盛り上がっていけるような方法を地域住民も含めて協議していきたい。
8	保護者にとって生徒が登下校する際の心配や、生徒数が多くなり新しい学校になじめるのかが問題である。全国でも悲惨なことが起こっているが、そういうことも考えられる。	平成 26 年度から平成 28 年度までの期間で、交流活動など実施できるものについては出来るだけ早いうちから試行的に取り組んでいき、混乱が起きないように方法をとってスムーズに移行したい。
9	日南学園中学のような私学に入学するような生徒が多くなるのではないかと思う。本城、都井、市木地区は 80 名近くの人員が確保できると思うので、できるなら 2 段階でお願いしたい。	私立の中学校などに入学すれば、市内の中学校に入学する生徒は減ってくる。それぞれ保護者や子どもの考えで行けるが、地元の中学校に行ってほしい思いはある。
10	他のところで出た意見を教えてほしい。	都井小学校では、スクールバスに乗り遅れた場合によかバスの利用はできるのか、ある地区では学校再編に反対であると聞くがどのような意見があるのか、遠いところから通う生徒は部活動後バスに乗って帰宅すると勉強する時間が無くなるのでは、再編校近くに住む人が多くなり市中心部以外の過疎化が進むのではなどの意見があった。

		北方小学校では、学校再編で校則はどうなるのか、部活動の県大会への出場が制限されるのでは、北方中学校の給食は給食センターから配送されているがどうなるのかななどの意見があった。
11	各地区で反対の意見もあるが、今の教育委員会の案で進んでいくのか。決まったような感がある。	教育委員会の素案として説明してきている。これを市長部局に協議している段階であり、また議員1人ひとりに十分理解していただくように説明していかなければならない。この説明会だけで終わりなのかという質問を受けたが、意見を集約して反映できるものは修正していき、説明の機会を設けられたらと考える。

No.	意見等
1	子どもを持つ保護者として、子どもがどういう環境で学んでいくのか、どういうふうになるかということが一番心配であるので、こういう機会を通じて意見を確実に取り入れた中で、子ども第一に物事を進めていただきたい。
2	P T Aだけではなく、本城地域の振興のために、全市民が関心を持つべきことであるので、本城支所で行ってほしい。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 3 日 (月)	時 間	19 : 00 から 20 : 31 まで
場 所	有明小学校 プレイルーム		
出席者	保護者 16 名、教職員 2 名、地域住民 1 名 計 19 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	昨年 3 月に基本方針を決めて、実施計画まで出来ている。事後報告でいいのか。	基本方針に基づいて、教育委員会内で議論してきた。お示しした内容は、あくまで計画の素案であり、決定ではない。条例改正や予算の編成を議会に提案するときにはじめて市としての考えが一本化される。その案を議会に提案して議会が承認して、基本計画及び実施計画がさらに肉付されて進められていく。説明した内容について意見をいただくために説明会を設けている。	
2	議会にはほとんど提案されていないと聞くが、その対応はどうなっているのか。	学校再編の問題は議員の皆さんには関心が高い問題である。また、1 月 14 日に全員協議会を開催していただき、説明をしてきた。再度、2 月 19 日に質問を受け説明することを予定している。議員の皆さんを無視して進めてきている案件ではない。	
3	市町村立学校の役割は、主に学校施設設備、条件整備であると思う。6 校を 1 校にすれば、施設設備の予算が浮くわけだが、そこがねらいではないかと考える。学校の合理化ではないか。子どもの学ぶ権利はどのように保証しているのか、その立場が欠けていると思う。	決してそういう発想ではなく、市内の中学校の実態があつて、学校としての機能が果たせるのかという状況まできている。子どもたちを学習面、文化・スポーツが行える部活動とかしつかりやらせたいという思いで議論してきた。基本方針にもあるように、1 学年あたりの複数学級が必要ではないかと決定して、串間を背負っていく子どもたちの学校施設は 1 つにまとめていった方がいいのではないかという計画の素案となった。決して合理化という意味でとらえてはいない。	
4	技能教科も 5 教科と同じように大事	技能教科は生きる上で重要であり、配置し	

	<p>であり、その問題を是正しようということではなく、現状を認めながら何とかしていこうという方針だと思う。考え直してほしい。</p>	<p>たいと思う。学校規模によって配置できる職員の数は決まってくる。技能教科を優先してしまうとどこかの教科が足りなくなる。技能教科を大事にすればこそ、勉強して何年も経験された先生を配置する方がいいと思う。</p>
5	<p>素案というが、立派にできている。実施計画まで出来ているがどうなるのか。</p>	<p>6校を1校にする方針決定の中で、どういう学校を作っていけばいいのか議論してきた。細部にわたって具体的に煮詰めていって、どこにも負けない学校を作っていかなければならないという意識で臨んでおり、今後も進捗状況について説明する機会も作っていかなければならないと思う。</p>

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 4 日 (火)	時 間	19 : 00 から 20 : 33 まで
場 所	福島小学校 記念館		
出席者	保護者 13 名、教職員 7 名、地域住民 11 名 計 31 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、学校政策課長補佐、生涯学習課長補佐、学校政策課指導主事、 施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	再編をする際に地域住民の理解が必要だと思う。今でも私立中学校へ流出している状況の中で、地域の理解がなければ拍車がかかる可能性もあるので、そのあたりをどのように考えているのか。また地域の理解が得られている状況なのか。	今、各地区の小中学校区を回って説明しているが、地区によっていろんな意見が出ている。現時点においては教育委員会としての案であるので、地域の方や保護者の意見を賜わりながら案がいい形になればと考えている。また地域の説明についても機会を作っていきたい。	
2	えびの市では 30 人学級を決めた。少規模校にとってはきめ細かい指導で成果を上げている学校があるので、30 人学級の導入を考えていく考えはないか。	1 学年 2 学級が基本にある。現場の先生の声として、30 人程度が一番指導しやすいというご意見をいただいております、行く先はそういうことも見据えて進めていければと思う。	
3	スクールバスの導入、運行にはどのくらい経費がかかるのか。将来的にスクールバスを運行するのにどのくらい経費がかかるのか。また財政面でどのくらい負担があるのか。	スクールバスの導入については、あくまで案であるが、バスを 6 台購入した場合、購入費が 3 千 3 百 90 万円程度かかると試算している。その財源として、国の補助金を 9 百万円、市の財源が 2 千 4 百 78 万円と試算している。また、スクールバスの運行経費は、8 人雇用した場合、年間 2 千 2 百 26 万 3 千円と試算している。その通学バスの維持運営費は地方交付税で措置されており、1 台あたり 5 百 70 万円であり、6 台で 3 千 4 百万円程度ある。 学校教育予算は大きく学校管理費と教育振興費に分けられる。学校管理費では、平成 25 年度と比較すると、現行で 5 千 4 百 52 万 3 千円に対し、再編後で 35.9%の 1 千 9 百 59 万 1 千円となる。また、教育振興費	

		では、平成 25 年度と比較すると、現行で 3 千 26 万 4 千円に対し、再編後で 96.2%の 2 千 9 百 10 万 6 千円となる。一方、歳入のうち地方交付税は、生徒数、学級数、学校数により交付されており、学校数や学級数が減ると段階的に減っていく。
4	地方交付税はどのくらい減るのか。	平成 33 年度では、現行で 1 億 2 千 3 百万円、1 校で 5 千 6 百万円と見込んでいる。ただ、段階的に減っていくのでこの時点で 6 千 7 百万円が減額される。段階的に減額されるので 5 年間の影響額が 1 億 8 千万円と見込んでいる。

No.	意見等
1	もう少し地域の人に説明会にくるような対応をしてほしい。地域の方ともデメリット解消のために十分話し合っしてほしい。

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 5 日 (水)	時 間	19 : 00 から 20 : 31 まで
場 所	金谷小学校 図書室		
出席者	保護者 8 名、教職員 4 名、地域住民 3 名 計 15 名		
事務局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	制服は変わるのか。	新しい学校にするので、保護者と学校と協議していきながら新しい制服を作っていくことになる。ただ、制服については、保護者負担になるので、保護者や学校などで協議することになる。導入方法は、現在の小学 5 年生が中学 3 年生、小学 4 年生が中学 2 年生になるが、現在の制服で再編された学校に行くのか、それとも中学校に入るときにあらかじめ新しい制服で学校に行くのか、保護者や学校と最終的に決めていきたい。	
2	平成 31 年度に現在の福島中学校区の生徒数が 30 人近く増えている要因は何か。	福島小学校の各学年の児童数は 60 人から 70 人程度であるが、今の小学 1 年生が 92 人おり、平成 31 年度に福島中学校に入学する予定である。	
3	教育委員の中で、反対意見とか修正意見とかあったのか。また全員賛成なのか。	1 校案でいいという意見、2 校でお互いを競わせるという意見、小さな学校から大きい学校になると学校に行くことができない生徒も出てくるのではないかということで市木を残して 2 校という意見があったが、市木から陳情書が出ているが、それを了とすればほかの地域の保護者から残してほしいという方向に変わっていくのではないかという意見もあった。最終的にははっきり議論して 1 校ということになった。	

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 6 日 (木)	時 間	19 : 00 から 20 : 24 まで
場 所	笠祇小学校 理科・家庭科室		
出席者	保護者 5 名、教職員 5 名、地域住民 3 名 計 13 名		
事務局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、学校政策課長補佐、生涯学習課文化係長、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	説明会での内容は決定なのか。	説明した素案は教育委員会で計画した原案である。決定ではない。学校の統廃合に関する権限は教育委員会にある。しかし、条例改正や予算の提案の権限は市長が持っており、最終的には市長が決定する。市で決定しても議会に提案し、議会の承認をいただかないと計画は実行に移れない。そういう段階を踏んでいかなければならない。	
2	29 年度に開校した場合、笠祇小学校の生徒は 3 人だと思う。できれば、通学バスが回ってくれば子どもを大きな学校に行かせることも考えないといけないがどうか。	どんどん子どもたちが少なくなっていくことは心苦しい。通学バスは 6 台ということで説明したが、その中には笠祇小学校区への順路は入っていない。しかし、かなり距離があり、暗く街灯も少ない。ここは検討しないといけないと思う。小学校の児童が 3 名しかいないとなれば、地域、保護者のご意向があればそのまま放置しておくことにはならないと思う。十分お互い協議しながら、子どもたちが一番いい環境の中で成長していくことがいいので、今後一緒に検討していきたい。	
3	都井や市木での説明会ではどのような意見があったのか。	各地区においていろんな意見があった。市木では、通学時間がかかることでの心配される意見、地域が廃れるのではないかという意見、もし私の子どもだったら南郷中学校に行かせたいが、行政区の違う学校に行くことは出来るかという意見、仮に議会に提案して反対される方が多かった場合、市木は別になる可能性はあるのかという意見	

		などあった。
--	--	--------